



狂犬百景

ハセガワアユム

登場人物

第一話『犬を拾いに』

青柳文太（30）・・・コンビニ「コージーマート」のブラック店長。菅原文太が好き
な父親に命名。おかげで豪快に育つ。過去に友紀奈と交際しお互いシナリオライター
を目指すが芽が出ないまま別れる。現在、バイト先だったコンビニの店長になり豪腕
で運営中。

青柳美加（29）・・・結婚せずに30歳になろうとしている、文太の妹。たぶん処女。
通称「せずみそ」に突入しようとしている無口。挙動不審のコミュ障気味。

久保友紀奈（29）・・・美加の同級生。過去に文太と同棲し、愛犬ベロを飼う。現在、

動物愛護団体に所属し寄金を募る。超クール。

坂口周吾（20）・・・文太のコンビニで働く大学生。ブラックな環境に染まっている。
夢がない。

桜木瑞穂（22）・・・同じく店員。バンドギャルでフリーター。一見ビッチ風なルックス。

客A・・・閉まってるコンビニに煙草を買いにくる。柄の悪い中年。

客B・・・閉まってるコンビニにポイントカードの登録に来る。たぶんホームレス。

第二話『部長は荒野を目指す』

松崎勝良（45）・・・営業部部长。女性との交際を原動力に申し上がる。現在既婚三股。

佐藤忍（29）・・・商品開発部。仕事への熱意が凄く、女傑と陰で言われる。松崎と関係がある。

中里友子（33）・・・営業部。ふんわりとした雰囲気の子持ち、松崎と叶えた仕事を忘れられない。

凛（22）・・・総務部契約社員。不思議ちゃんでは片付かないバランスで社内をゆらゆらする。松崎と関係している。

唐沢努（40）・・・製造部主任、独身。気性が荒く松崎の下半身問題をよく思っていない。

呉（くれ）和馬（42）・・・専務。松崎より後輩だが、下半身問題により先に出世して上り詰める。松崎と二人三脚で会社を振興してきた自負がある。

三島耕作（25）・・・顧客マーケティング部。若く、この狂犬に囲まれた会社で未来にまで危機感を持つ。友子に恋をしている。

第三話『漫画の世界』

田崎ジン(36) . . . 漫画家。狂犬騒動に当てられ、ゾンビ漫画で一山当てようとしてる。

橘直人(36) . . . 元ボクサー、いまは自転車屋を経営。田崎と友人で仕事場を出入りしてる。

志村陽子(26) . . . 田崎のアシスタント。元ファンのガチオタ上がりなので田崎を崇拜。

西田翔平 (34) . . . 漫画「ヤングガリレイ」編集者。

若槻 (25) . . . 雑誌のライター。

深谷 (25) . . . カメラマン。

第四話 『賛美歌』

宮台雄二 (42) . . . 動物愛護センターの室長。自分たちの存在に日々揺れ動く。

島口夕子 (36) . . . センター職員。子供を授かっている。ペットの灰を川に流す。

戸山あゆみ（27）・・・センター職員。獣医。若干アスペ気味。

久保友紀奈（30）・・・第一話の友紀奈と同じ人物。動物愛護団体「ワンオール」の支部長。

塚本渚子（27）・・・「ワンオール」合唱部のリーダー。ゾンビのうんちくばかり語っている。

青柳文太（30）・・・第一話の青柳と同じ人物。動物愛護団体「ワンオール」の広報に就いている。

※一部ネタバレを含みますので、以下の登場人物紹介は出来れば飛ばして本編をお読みください。

深谷敦史（25）・・・センター職員。最近、恋人と別れた。

菅谷・・・センター職員。紙コップに電話番号を書いて渡すナンパ癖がある。

東地・・・ダンサー。勲章のように賞を穫る度に犬を飼う。

豊田陽平・・・どこにでもいるズレた若夫婦。チワワをもらいに来る。

和穂
・・・
陽平の妻。フェイスブックが大好き。

唐沢、友子、若槻、松崎、美加、田崎、志村、直人、西田
・・・
全て各話に出て来た登場人物たちと同一人物。

M U 『狂犬百景』

A l l D i r e c t i o n ハセガワアユム

第一話 『犬を拾いに』

第二話 『部長は荒野を目指す』

第三話 『漫画の世界』

第四話 『賛美歌』

※第二話 (脚本共著・米内山陽子)

狂犬百景 第一話『犬を拾いに』

t e x t ハセガワアユム

○あらすじ

あるコンビニの裏手に荒ぶってるアパートがあり、そこには犬が落ちていた。まさに「落ちてている」と感じたコンビニアルバイト・瑞穂は、拾おうか同僚の坂口に相談する。その手には犬に噛まれた痕があった。同じ時刻、コンビニ事務所では店長・青柳の別れた恋人が来訪し、自身の動物愛護団体に「当たった宝くじの何割かを寄付して」と迫っていた。ふたりが飼っていた、謎の高熱で死んだ犬・ベロの意思が全ての始まりだと、彼女は説き始める。

○登場人物

青柳文太（30）・・・コンビニ「コージーマート」のブラック店長。菅原文太が好きな父親に命名。おかげで豪快に育つ。過去に友紀奈と交際しお互いシナリオライターを目指すが芽が出ないまま別れる。現在、バイト先だったコンビニの店長になり豪腕で運営

中。

青柳美加（29）・・・結婚せずに30歳になろうとしている、文太の妹。たぶん処女。通称「せずみそ」に突入しようとしている無口。挙動不審のコミュ障気味。

久保友紀奈（29）・・・美加の同級生。過去に文太と同棲し、愛犬ベロを飼う。現在、動物愛護団体に所属し寄金を募る。超クール。

坂口周吾（20）・・・文太のコンビニで働く大学生。ブラックな環境に染まってる。夢がない。

桜木瑞穂（22）・・・同じく店員。バンドギャルでフリーター。一見ビッチ風なルックス。

客A・・・閉まってるコンビニに煙草を買いにくる。柄の悪い中年。

客B・・・閉まってるコンビニにポイントカードの登録に来る。たぶんホームレス。

○舞台

都内にあるコンビニ、コージーマート。

ビルの二階にある。

夜間の棚卸しと清掃中の時間。

店は「リニューアルにつき朝までパワーアップ工事中」と張り紙がしてあるが、強行突破してくる客には仕方なく相手をする。

○シーン1

テーブルが二つあり、ひとつはカウンター。

もうひとつはコンビニ事務所の机を意図してる。

コンビニ的な形はしておらず、事務所が中心、その外側が円状態のコンビニ店内。さらにその外側が店外と、バームクーヘンのような形をしている。

店内では坂口が棚卸しをしている。
ダンボールの中身の製品を拭いている。

【SE】客が入って来るピンポンというチャイム。

客ではなく同じくアルバイトの桜木が入って来る。

手の甲には大きな絆創膏が貼ってある。

それは、やや、赤味を帯びている。

作業をしている坂口に、桜木がギャルっぽいだらしない口調で話しかける。

桜木　ねえ、犬、落ちてたでしょ？

坂口　・・・

桜木　見た？

坂口　・・・落ちてるって？

桜木　・・・捨てられてた？

坂口　落ちてるってなに（苦笑）

桜木　わかんない。捨て犬？　このコンビニの裏にさ、廃墟みたいな荒ぶってるアパートあんじゃん、

坂口 荒ぶってるって、一応ひと住んでるんだし、

桜木 とにかくあんじゃん、『北斗の拳』とか『マッドマックス』に出てくるみたいなアパート。

坂口 まあ、あそこね、

桜木 そこにバイク止めてあんだけど。そのバイクの陰に排水溝の溝みたいのあって、そこにさあ、犬、ハマってたの。ズボボって落ちた感じで。

坂口 ええ？ズボボ？

桜木 気付かなかった？

坂口 俺、チャリで来てるから。

桜木 スルーかよ、あんな可愛い犬、スルーかよ、

坂口 まあ、夜だし気付かないよ、

桜木 ソフトバンクの犬いるじゃん？あれのキャメルカラー・柴犬か？なんか弱ってるみたいでさ。「きゃわいいね」って、「どっから来たの」って、頭撫でて、じっとしたまま逃げないの。人間に慣れてんなって、

坂口 野良って法律で禁止されてるし、もともと飼ってたのを捨てられたんじゃないの？

桜木 (頷き) ひっどいことするよね、それで、なんかあげようと思って・・・いててて、

桜木、手に着いてるガーゼを捲る。大分血の穴が空いている。

坂口 噛まれたんじゃない？

桜木 は？

桜木 甘噛み、甘噛みだから、

坂口 甘噛みでそれ？！

桜木 大丈夫大丈夫。 ブツ！！（傷口に唾を吐き蓋をする） 犬飼ったことないの？ あたし実家だから、バイト代、全部バンドのおっかけに注ぎ込んでるんだけど、そのお金であの犬病院連れてってさ、飼ってあげたいな〜ってほど、ちよつと・揺れてるの、

坂口 ……桜木さん、優しいんだね。

桜木 まあ、こう見えても。みたいな。

坂口 俺、動物とか飼ったことないから、判んないんだよね、距離感。

桜木 （ズケズケと言い始める）坂口くん、動物飼った方がいいよ、人格変わるから。

坂口 ……人格？

桜木 明るくなるよ、

坂口 いまの俺って、暗いの？

桜木 う、う〜ん、なんつうか、その、面白みに欠けるっていうか、大学でもひとり御飯食べてるって言ってたじゃん。ぼっちメシ？

坂口 …… (あつ)

桜木 もく。暗いなら暗いで美加さんくらい突き詰めた方がいいんだよ、

坂口 あのひと、ほとんど喋らないじゃん。

桜木 だから、あそこまで行くと、犬じゃないけど、なんつうか愛せる小動物粹っていうか、

坂口 (しっ、と指を立てて) やめなよ、いま冷蔵庫の整理してるんだから。

桜木 (頷き) でも坂口くんは…いま「居る」だけだからね、

坂口 居る？

桜木 (呼び) 店長と美加さんが揉めてるときもさ、ああいう仲裁だったらやめなよ。

坂口 ……え、ええと、

桜木 「人それぞれじゃないですか」って。

坂口 ……

桜木 みんな、人それぞれだから揉めてるんじゃない、

坂口 だって、いい大人がくだらないことで揉めてるからさ

桜木 うーん、じゃあそう言えば？

坂口 立场上、ちよつと、

桜木 だから「居る」だけなんじゃん、それじゃ。

坂口
・・・

階段を上がって、客がやってくる。

【SE】客が入って来るピンポンというチャイム。

横暴で汚めなおっさんの客Aがやってくる。

ダッシュで駆け寄る坂口。

入って来るなり煙草を注文。

客A
マイセンウルトラメンソール、ボックス。

坂口
すみません、表の張り紙見えませんでしたか？

客A
(聞いてない) マイセンウルトラメンソール、ボックス。

坂口
あの、いま店内リニューアル中でやってない(んですよ)

客A
(遮り) 49番、

坂口
番号じゃなくてですね、

客A
マイセンウルトラメンソール、ボックス。

坂口
あ、名前じゃなくてですね、

客 A (軽くキレる) あ? じゃあなんだよ?

坂口 . . .

桜木 (後ろから大きく明るい声で) あのー、いまお店リニューアル中で朝までやってないですよ、

客 A (ニヤつき) コンビニだろ? マジかよ、

桜木 マジなんですよ

客 A (坂口にドスを効かせ) 表に張り紙貼っておけよ、ここ二階でキチーんだからよ、

坂口 (小声で) 貼ってあるんですけどね、

客 A ちっ、

階段を降りて、出て行く客 A。

【SE】客が出て行くピンポンというチャイム。

出てった階下に、中指を突き立てる桜木。

桜木 マイセンじゃなくて今はメビウスだっつの、速く肺がんで死ぬニコキチ。くせーんだよ、マジで。

坂口 ありがとう、助けてくれて。

桜木 . . . はあ (溜め息)

坂口 桜木さんさ・・・今度の休み、どっかいかない？

桜木 ……

坂口 さっきの御礼。

桜木 御礼？

坂口 奢るよ。ブラックでも、金だけは溜まってんだ。

桜木 (軽く笑い) そんな誘い方あんの？

まんざらでもない空気。

桜木 ねえ、前に貸した、バンドのCD、聴いてくれた？

坂口 ……それは・・・まだなんだけど。

桜木 (驚きキレる) そこは聴いとけよ!!!

坂口 ……

桜木 なに？ これ、なに？ あたしに興味あるんじゃないの？

坂口 そんなハッキリ言わなくても・・・

作業に戻る、桜木。

桜木　もう「居る」だけでいいよ、

坂口も作業に戻る。

○シーン2

照明、あれば中心の事務所にだけ当たる。

青柳は店内のモニターを眺め、リモコンを握りしめていじってる。

クールな表情の友紀奈だが、言動はきつめ。

昔交際していた杵柄で会話のテンポは進むが、どこか隔たりがある。

友紀奈　ねえ、

青柳　ん、

友紀奈　話逸らさないでよ、

青柳　逸らしてないよ、

友紀奈　話、止まってるじゃない、

青柳 止まってるのと、逸らしてるのは違うだろ、

友紀奈 ……（モニターを覗き込み）なに？

青柳 いや、客が間違えて入ってきたみたいでさ。

友紀奈 表に貼り紙あったでしょ？

青柳 な。「リニューアルにつきパワーアップ工事中」って、

友紀奈 （小さく笑い）結構大きかったよ、あれ。

青柳 文字も読めない、幼卒なんだろ、

友紀奈 ……幼卒って、

青柳 （モニターを指し）だからって、桜木ちゃん中指立てちゃ、ダメだろ（リモコンで止め）あ、

ほら、中指。

友紀奈 店長として、どういう教育してるの？

青柳 すんませんね、

友紀奈 だったら、さっさと注意してくれば。

青柳 え、いいの？

友紀奈 それで落ち着いて話せるなら全然いい。

青柳 ……うーん、

友紀奈 さっさと行ってよ。

青柳 結論からいうと、これ以上話しても、変わらないと思う、けど。

間。

友紀奈 あたし、そんな難しいこと言っていないと思うけど、

青柳 ……うーん、でも、いきなり、寄付しろって言われても、

友紀奈 当たったからでしょ、宝クジ。

青柳 ……当たったね、

友紀奈 だったらいいじゃない。

青柳 俺のフェイスブック、いま大炎上なのね。みんな「いいね！」押すと金もらえるとって。

友紀奈 そんなこと書くからでしょうが。

青柳 嬉しくてよおノずっと買ってたのに当たったことなかったから。

友紀奈 ……

青柳 友紀にも良く頼んだよな。

友紀奈 (溜め息) 頼まれてた。ねえ、若かかったら炎上させてもかわいいで済むけど、おっさんがそんなんでSNS炎上させてどうすんのよ。

友紀奈 ……

青柳 ま、それでもリアルに食いついて来たのは・・・おめえが初めてだな。

友紀奈 ……なに、その下品な言い方。

青柳 ……

友紀奈 宝クジの前でしょ？ 宝クジ目当てで友達申請した訳じゃ、

青柳 フツーする？

友紀奈 んん？

青柳 フツーさあ、別れて、

友紀奈 フェイスブックが導いたのよ。私はそれに従っただけ。

青柳 はあ？

友紀奈 お酒飲んで（スマホ動かす動作）スツスツて見てたら、「知り合いかも？」ってちらちら出て

きてさ。

青柳 ああ、はいはい、

友紀奈 「あ、ロン毛やめたんだ」って。

青柳 この店長なったからね。

友紀奈 シナリオライターなるの諦めたかと。

青柳　へえ・・・夢、軽ッ。

友紀奈　重さなの？

青柳　・・・

友紀奈　そういう文太は、ちょっと「現実」軽すぎない？・・・あたしたちの夢のせいで、ベロがさ（

淀む）青柳　・・・ベロの高熱は、原因不明だって医者にも言われたろ、

友紀奈　当時はね、

青柳　俺たちが小田原に取材行ってようが行ってまいが、ベロは、あるとき、安らかに逝っちまったん

だよ、

友紀奈　でも家に居たら助かったかもしれない、

青柳　原因不明の高熱だぞ！　どうやって助けるんだよ！

友紀奈　立ち会えたかもしれない。

青柳　やめろよ！！　いいかげん！

友紀奈　あるとき、あなたの妹の代わりに看病出来たら、

青柳　美加は、俺らの代わりに看病してくれてたんだぞ！

友紀奈　・・・原因が分かれば、これからベロみたいな子も救えるかも知れない、

青柳　でもそれはベロじゃない、

友紀奈 わかってる、ベロじゃない、だけど、ベロを襲った不幸は消すことが出来るかも知れない、

青柳 そうだけでも、

友紀奈 あたしのことはどうでもいいけど、ベロのことは親として忘れないでよ、

青柳 ……忘れてないよ、

友紀奈 全部、繋がってる物語なの。誰が主役かは判らない。だけど、これはベロがわたしに渡したバトンなの、

青柳 ……伏線だともいいたいのかよ、

友紀奈 結果が出ればね。そう見えるかも。とにかく、私は忘れてない。

友紀奈、鞆から瓶を取り出す。

友紀奈 ベロの爪、

青柳 マジかよ、

友紀奈、瓶の蓋を開ける。

結構独特な匂いがする。

青柳、鼻を摘む。

青柳 ウツ、

友紀奈 ちょっと、

青柳 いや、だって（臭い）

友紀奈 生きてた証拠でしょ。・・・持つて。

青柳、恐る恐る手を伸ばす。

手のひらの上に、友紀奈が骨を落とす。

手のひらの揺れを計りのようにマジマジと見る友紀奈。

友紀奈 ・ ・ 感じる？

青柳 え、

友紀奈 重さ？

青柳 ええ、

友紀奈 感じないの？ ここに残ってるのは魂の重さだよ、

青柳 ここに？

友紀奈 魂感じるよ！！ 忘れてないなら、魂の重さ感じなさいよ！

青柳　　いいかげんにしろ！！　．．．こういうのが嫌で別れたんだぞ！！

青柳は、手に骨を乗つけたまま、怒りに震える。

青柳　　忘れてないよ。泣き過ぎて眼球パンクするかと思った．．．お前と別れた後だって、散歩してた道、通るの辛過ぎて、同じ街なのに無理して引越すため、店長にだってなったんだよ！

友紀奈　　．．．

友紀奈、許したかのように骨をそっと瓶に戻す。

友紀奈　　じゃあ、寄付してよ．．．何割かでもいいから。

青柳　　．．．俺の一存じゃできない。

友紀奈　　は？

青柳、防犯カメラを見る。

ちょうど、ダウンを来た美加が冷蔵庫から、ジュースの品出しを終えて出て来る。

青柳 金出したのは俺だけど、クジ買って来たのは、あいつなんだ。

友紀奈、カメラを喰いいるように見る。

○シーン3

灯りがコンビニに変わる。

美加が震えながら戻って来て、手には「暖か〜い」お茶を飲んでいる。

美加はあまり喋らない。() 内を表情で演技して下さい。

坂口と桜木が話しかけている。

桜木 いやー、美加さん、冷蔵庫の品出しマジ早くなりましたよね。

美加 (ほんと?)

桜木 ほんとほんと。(ふっと笑い)

美加 (へへへ)

桜木 (小声で) 坂口くんも、なんか褒めなよ。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

狂犬百景（おためしサンプル）

2014年11月28日 初版発行
2014年11月30日 改訂（ver.1.002）

著 者 ハセガワアユム © 2014年
発行者 石村寛之
発行所 有限会社レトロインク
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7
電話 0422-49-2903
